

「カーボンニュートラル秋田テイクオフ会議」 知事メッセージ

令和4年4月20日 13:30
県 正 庁

【現状、脱炭素の必要性】

- 「地球温暖化」の進行により、世界各地で急激な気候変動が確認され、国内でも強い台風や集中豪雨等の極端な気象現象が観測されています。
- 「気候変動に関する政府間パネル」では、更なる化石燃料の使用削減や再生可能エネルギーの導入等に加え、電化された交通手段の利用など、行動面の変化が必要とされています。

【秋田県の対応】

- カーボンニュートラル、脱炭素は、あらゆる分野において重要な視点となっており、この動きを再生可能エネルギーや森林資源の宝庫である本県の振興に結びつけていくことが肝要です。
- 大規模な洋上風力発電は、関連産業を含め、今後、広域的な一大拠点となり得る可能性を秘めており、サプライチェーンへの参入や人材育成等に取り組むほか、再生可能エネルギーの地産地消の仕組みづくりと合わせることで、先進企業やグローバル企業誘致の材料としていくなど、効果的な活用方法の検討を進めていきます。
- 排出削減に加え、吸収源対策としての林業・木材産業の振興も必須であることから、林業経営体への造林地の集積や低コスト技術の普及により再造林を進めるほか、木材の生産・流通体制の整備や、住宅分野における県産材への転換等により木材利用の促進を図り、森林資源の循環利用を進めていきます。
- 再生可能エネルギー導入、食料生産基盤維持、自然災害対策強化により、安全で食料・エネルギー自給率の高い強靱な県土をPRして、人や企業の誘致にも結びつけていきます。

【県民の皆様へのお願い】

- 時代の大きな変革の波に乗り遅れることなく、「環境と経済が好循環した社会の形成」に向け、前に進んでいかなければなりません。
- 県の施策や関連する事業活動だけでカーボンニュートラルは実現しません。一人ひとりの日常の行動が最も重要であり、普段の意識が企業活動にも反映されます。
- クールビズ、ウォームビズやこまめな消灯など従来からの取組に加え、食品ロスや生ゴミを減らす、不要なプラスチック製のスプーン等は受け取らない、木製品を購入して長く使うなど、日常の行動の中で、省エネや温暖化対策につながるものはたくさんあります。すべての県民が取り組めるものですので、皆様の実践行動をお願いします。

【カーボンニュートラル宣言】

- 先人から受け継いだ「豊かな水と緑あふれる秋田」を次の世代に継承することは、今を生きる私たちの責務です。一人ひとりが行動を変えることで、地域が、秋田が、そして地球の未来が変わります。
- 秋田県は、県民、事業者、行政など、様々な主体が一丸となって、2050年のカーボンニュートラルを目指して取り組んでいくことを、ここに宣言いたします。